

2007年度(2007年1月1日から
2007年12月31日まで)事業報告書

1. 事業の概要

1-1. 学術的会合

1-1-1. 第62回年次大会関係

会期: 9月21日(金)~24日(月)

会場: 北海道大学(札幌市北区北8条西5丁目)

講演数: 4,135件

内訳: 原著講演 3,886件 シンポジウム講演 203件 招待・企画講演 40件 レビューセッション講演 6件

参加登録者数: 5,394名

会員 5,193名(一般3,210名 学生1,983名)

非会員 201名(一般71名 学生130名)

レビューセッション講演:

会期: 9月23日(日)9:30~11:45(3会場同時進行)

会場: 札幌コンベンションセンター(札幌市白石区東札幌6条1丁目)

〈AB会場〉

1. 「超弦理論と宇宙の謎」 60分 江口 徹(京大基研)
2. 「高出力レーザーの新展開 重力波天文学から生まれた新世代セラミックレーザーと高出力レーザーへの途」 60分 植田憲一(電通大)

〈CD会場〉

1. 「凝縮系電子物性研究の流れ・半導体・金属・酸化物から分子系へ」 60分 福山秀敏(東理大理)
2. 「ソフトマターのレオロジー」 60分 土井正男(東大工)

〈EF会場〉

1. 「物理教育をどのように支援するか」 60分 並木雅俊(高千穂大)
2. 「宇宙におけるプラズマ現象と非熱的過程」 60分 牧島一夫(東大理)

ほかに、現地実行委員会企画による以下の一般市民向け講演会を開催した。

企画: 一般市民講演会

小沼通二(慶大・武蔵工大名誉教授): 科学者からのメッセージ

会期: 9月23日(日)14:00~16:00

場所: 北海道・旧赤レンガ庁舎2階会議室

参加者数: 約100名

1-1-1-1. 託児室

会期中に設置し、7家族、9名、延べ27名の利用があった。

1-1-2. 春季大会

1-1-2-1. 素粒子・核物理・宇宙線・宇宙物理・ビーム物理領域関係大会

会期: 3月25日(日)~28日(水)

会場: 首都大学東京(東京都八王子市南大沢)

講演数: 807件

原著講演 742件 シンポジウム講演47件 招待・企画講演18件

参加登録者数: 1,192名

会員 1,135名(一般737名 学生398名)

非会員 57名(一般17名 学生40名)

ほかに、現地実行委員会企画による以下の一般市民向け講演会を開催した。

企画: 市民科学講演会

井上 一(宇宙航空研究開発機構): 科学衛星で探る宇宙: 太陽からブラックホールまで

江口 徹(東大理): アインシュタインの夢を超えて

会期: 3月24日(土)午後

場所: 首都大学東京 講堂大ホール

参加者数: 約200名

1-1-2-2. 物性関係を含む上記以外の大会

会期: 3月18日(日)~21日(水)

会場: 鹿児島大学(鹿児島市郡元)

講演数: 3,286件

原著講演3,119件 シンポジウム講演144件 招待・企画講演23件

参加登録者数: 4,253名

会員 4,126名(一般2,597名 学生1,529名)

非会員 127名(一般67名 学生60名)

ほかに、現地実行委員会企画による以下の一般市民向け講演会を開催した。

企画: 市民科学講演会

十倉好紀(東大工): 強相関物理学でつくる奇妙な物質・役立つ材料

坂東昌子(愛知大法): 物理は羽ばたく…湯川精神…

会期: 3月17日(土)午後

場所: サンエールかごしま(鹿児島市生涯学習プラザ)

参加者数: 約200名

後援: 鹿児島県教育委員会, 鹿児島市教育委員会, 鹿児島大学工学部, 鹿児島大学理学部

1-1-2-3. 託児室

会期中に設置し、鹿児島大学会場では6家族、8名、延べ18名、首都大学会場では7家族、7名、延べ24名の利用があった。

1-1-2-4. 第3回 Jr. セッション(主に高校生による講演発表会)

会期: 3月27日(火)午後

会場: 首都大学東京 講堂小ホール

発表件数: 口頭11件

表彰件数: 最優秀賞2件 優秀賞2件 奨励賞2件

参加者数: 約200名(うち高校生約50名)

1-1-3. 科学セミナー

セミナー名: 先端光科学が生み出す新しい世界

会期: 8月24日(金)~25日(土)

会場: 電気通信大学 B棟 2F 階段教室

演題: 10題

聴講者数: 初日85名, 2日目58名

1-1-4. 公開講座

本年度は文部科学省からの科学研究費補助金研究成果公開促進費「研究成果公開発表(B)」の補助は受けられなかったが、当初の計画どおり、主に高校生、ほか一般市民等を対象に次の公開講座(聴講無料)を開催した。

企画名: 物理が解き明かす脳のひみつ

会期: 10月27日(土)

場所: 東京大学駒場キャンパス大学院数理科学研究科棟大講義室

参加者数: 90名(高校生9名, 大学生30名, 高校の先生12名, 他39名)

1-1-5. 国際会議

1-1-5-1. 原子核物理学国際会議(INPC2007)

主催: 高エネルギー加速器研究機構, 理化学研究所, 大阪大学核物理研究センター

会期: 6月3日(日)~8日(金)

場所: 学術情報センター(東京都千代田区)

本会代表運営委員: 永宮正治(高エネ機構)

参加者数: 600名

1-1-5-2. KPS-JPS Joint Session on Particle Physics

主催: 韓国物理学会

会期: 10月18日(木)~19日(金)

場所: International Convention Center Jeju (Korea)

本会代表運営委員: 山中 卓(阪大理)

参加者数: 50名

1-1-5-3. 電子スピサイエンス国際会議 一第46回SEST年会合同討論会

(A Joint Conference of the International Symposium on Electron Spin Science and the 46th Annual Meeting of the Society of Electron Spin Science and Technology (ISESS-SEST2007))

主催: 電子スピサイエンス学会

会期: 11月6日(火)~9日(金)

場所: 静岡県コンベンションアーツセンター(グランシップ)(静岡市駿河区池田)

本会代表運営委員: 太田 仁(神戸大)

参加者数: 205名

なお、上記3件の国際会議を共催した他に、22件の国際会議の協賛・後援を行った。

1-1-6. 国内会議

142件の国内会議の共催・協賛・後援を行った。

1-1-7. その他

1-1-7-1. 支部例会, 支部特別企画等
 本会の10支部において, 例会, 特別企画等の会合を開催した。

1-1-7-2. 国立科学博物館, 日本物理教育学会との共催事業
 「自然の不思議 —物理教室—」
 共同主催: 日本物理学会, 国立科学博物館, 日本物理教育学会
 会期: 6月2日(土), 9月1日(土), 10月7日(日), 11月10日(土),
 12月8日(土)
 場所: 国立科学博物館上野新館(東京都台東区)
 なお, 主な対象者は小学5, 6年・中学生で, 毎回10~20名前後の応募があった。

1-1-7-3. 世田谷区への協力事業
 「世田谷区中学生講座」
 主催: 世田谷区教育委員会
 企画協力: 日本物理学会
 会期: 6月9日(土), 7月14日(土), 7月21日(土), 9月29日(土), 12月8日(土), 2月9日(土)
 場所: 世田谷区立教育センター(9月29日のみ科学未来館)
 なお, 主な対象者は世田谷区内の公立中学生で, 毎回10名~30名前後の応募があった。

1-2. 刊行関係

1-2-1. 日本物理学会誌
 第62巻第1号~12号を刊行した。A4判, 月刊。
 ページ数: 総ページ1,409 月平均117.4 ページ(予算130 ページ)
 刊行部数: 総刊行部数217,690 月平均18,141(予算18,200)
 ほかに春季大会・年次大会のプログラムとして3月増刊号163 ページ(本文)18,410部と8月増刊号133 ページ(本文)17,810部を刊行した。

1-2-2. JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN (JPSJ)
 Vol. 76 No. 1~13の13冊 (No. 13はVolume Index) を刊行した。A4判, 月刊。
 ページ数: 総論文ページ数3,503(Index含まず)月平均(Index含まず)292 (予算302)
 刊行部数: 総刊行部数15,165(Index含まず)月平均(Index含まず)1,263 (予算1,235)
 掲載論文: 本論文333 Letters 164 Short Notes 19 Addenda 2 Comments 4 Errata 9 Invited Review Papers 2 Special Topics 33

1-2-3. 講演概要集
 A4判 各4分冊

	2007年春季大会 (第62巻第1号)		第62回年次大会 (第62巻第2号)	
分冊	刊行部数	本文ページ数	刊行部数	本文ページ数
1	450	156	450	193
2	1,150	327	1,150	328
3	1,250	301	1,250	294
4	1,400	382	1,400	408

1-2-4. 大学の物理教育
 B5判 第12巻1~3号(3月, 7月, 11月)を刊行 総ページ数169 1号平均約56ページ 毎号2,200部刊行

1-2-5. 科学セミナーテキスト
 8月に開催した科学セミナー「先端光学が生み出す新しい世界」のテキスト A4判 173 ページ 480部刊行

1-2-6. 公開講座テキスト
 10月に開催した公開講座「物理が解き明かす脳のひみつ」のテキスト B5判 70ページ 300部刊行

1-2-7. JPSJのサプplement
 1-2-7-1. Supplement A to Vol. 76 (2007)
 Proceedings of the International Workshop on Recent Progress in the High Pressure Research "Novel Pressure-induced Phenomena in Condensed Matter Systems" (NP2CMS)
 A4判 231 ページ 475部刊行

1-3. 国際交流・協力
 国際交流・協力として, 次のような事業を行った。

1-3-1. AAPPS(アジア・太平洋物理学学会連合)の加盟学会として活動支援, 機関誌 AAPPS Bulletin の刊行援助, 等

1-3-2. ASPEN (Asian Physics Education Network) への協力

1-3-3. 開発途上国からの投稿者へのJPSJ別刷代援助

1-3-4. 開発途上国等へのJPSJの寄贈

1-3-5. IUPAP(International Union of Pure and Applied Physics)関係

1-3-5-1. IUPAPのWomen in Physics への協力

1-4. 図書雑誌および物理学史資料の供覧
 本会所蔵の図書・雑誌, 物理学史資料を会員の利用に供した。

1-5. 第12回論文賞の表彰
 JPSJ および PROGRESS に掲載された論文の中から, 優れた論文5

篇を選び表彰した。

1-6. 日本学術会議および文部科学省等への協力
 活動およびアンケート調査等への協力を行った。

1-7. 物理教育・理科教育, JABEE, 男女共同参画, 研究者の教育研究環境, 等に関する活動

1-7-1. 「理数系学会教育問題連絡協議会」への参加・協力

1-7-2. 「日本技術者教育認定機構(JABEE)」関係

1-7-2-1. 物理・応用物理学関連分野での協力

1-7-3. 男女共同参画関係

1-7-3-1. 男女共同参画学協会連絡会への参加・協力, アンケート調査の実施

1-7-4. 研究費配分に関する教育研究環境関係

1-7-4-1. 会員および大学附属図書館等へのアンケート調査を実施

1-8. 電子化・ホームページ関係

1-8-1. ホームページによる本会の情報公開

1-9. 物理系学術誌刊行協会(IPAP)との運営協力
 JPSJの編集・刊行を委託しているIPAPと協力してJPSJ購読のサイトライセンス化を推進

1-10. 自然災害等の特別な場合の被災会員への会費免除
 新潟県中越沖地震(2007年7月)被災会員1名に対して, 申請に基づき会費1年分の免除を決定

1-11. キャリア支援センター
 文部科学省が公募した「科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業」に応募し採択された事業名「物理学の資質を持つ人材活用のためのキャリアパス開発全国展開」については, 本会内に設置した標記支援センターを中心に東京大学, 金沢大学, お茶の水女子大学, 神戸大学大学院人間発達環境学研究所の4つの機関と連携して事業を遂行した。

1-12. その他

1-12-1. PROGRESS OF THEORETICAL PHYSICS (PROGRESS)
 本会との共同により理論物理学刊行会が Vol. 117 No. 1~6, Vol. 118 No. 1~6 を刊行した。B5判, 月刊
 ページ数: 総ページ数 2,452 月平均 204(予算200)
 刊行部数: 総刊行部数10,350 月平均 863(予算900)
 掲載論文数: 本論文115 Letters 10
 なお上記のほか Supplement No. 166~171 の6冊(総頁数 約2,000)を刊行した。

2. 処務の概要

2-1. 総会・役員会等に関する事項

2-1-1. 総会

2-1-1-1. 第81回通常総会
 3月30日(金)午後, 本会会議室で開催した。2006年度事業報告書(会員の異動状況報告書を含む)・収支決算報告書, 2007年度事業計画書・収支予算書が原案どおり承認された。また, 第64期会長(二宮正夫氏), 第63期~64期理事, 第63期~64期監事, 第62期~第63期理事の後任, 第63期~第64期代議員を選出した。

2-1-1-2. 第82回臨時総会
 8月24日(金)午後, 本会会議室で開催した。第62期~第63期理事の後任を選出した。

2-1-2. 理事会
 下記期日に開催した。

第480回	1月12日	第481回	2月10日	第482回	3月2日
第483回	4月14日	第484回	5月12日	第485回	6月11日
第486回	7月10日	第487回	8月24日	第488回	9月8日
第489回	10月13日	第490回	11月10日	第491回	12月8日(臨時)
第492回	12月15日				

2-1-3. 委員会
 下記期日に開催した。

2-1-3-1. 会誌編集委員会

1月13日	2月17日	3月15日	4月21日	5月19日	6月16日
7月21日	8月22日	9月16日	10月21日	11月11日	12月9日

2-1-3-2. JPSJ 編集委員会

1月15日	2月9日	3月14日	4月13日	5月14日	6月13日
7月12日	8月9日	9月12日	10月10日	11月9日	12月13日

2-1-3-3. 刊行委員会
 4月10日 12月14日

2-1-3-4. 受賞候補等推薦委員会
 1月20日 7月10日 9月15日

2-1-3-5. 論文賞選考委員会
 4月27日

2-1-3-6. 物理学史資料委員会
 3月13日 8月8日 10月16日

2-1-3-7. 物理教育委員会

- 2月3日 3月31日 6月2日 8月10日 10月6日 12月27日
- 2-1-3-7-1. 大学の物理教育編集委員会議
1月27日 2月17日 2月24日 5月12日 6月9日 6月23日
8月30日 9月29日 10月20日 10月27日
- 2-1-3-8. 広報委員会議
(開催せず)
- 2-1-3-9. JABEE 委員会議
5月26日
- 2-1-3-10. 男女共同参画推進委員会議
4月7日 9月24日 12月8日
- 2-1-3-11. 情報システム運用委員会議
(開催せず)
- 2-1-3-12. 領域委員会議
5月23日 11月21日
- 2-1-3-13. 事務局運営委員会議
3月2日 5月12日 5月31日 9月8日 12月15日
- 2-1-3-14. Jr. セッション委員会議
1月30日
- 2-1-3-15. 物理人材活用委員会議
10月4日 12月15日
- 2-1-3-16. キャリア支援センター運営会議
7月10日 7月23日 8月16日 10月15日 11月15日
- 2-1-4. その他

上記のほか会計理事会議, 理事会・委員会内に設置された小委員会議, WG等を必要に応じて開催した。

2-2. 許可, 認可および承認に関する事項

申請月日	申請先	申請事項	指令月日
(なし)			

2-3. 契約に関する事項

契約月日	相手方	契約の種類	期間
3月30日	(株)日立情報システムズ	計算機・ネットワークの運用管理作業保守	1年
9月6日	小宮山印刷工業(株)	JPSJの組版・印刷・製本	1年
11月12日	トーヨー企画(株)	大会関係業務委託	2年

3. 会員の異動状況

会員種別	会 員 数		増 減
	2006年 12月31日現在	2007年 12月31日現在	
正 会 員	17,225 ¹⁾	17,396 ²⁾	+171
学生会員	109	97	-12
賛助会員	96(358口)	96(366口)	0(+8口)
特別会員	941 ³⁾	935 ⁴⁾	-6
計	18,371	18,524	+153

¹⁾ うち名誉会員 4, 終身会員 457, 大学院生で学生会員会費適用者 2,395

²⁾ うち名誉会員 4, シニア会員 400, 大学院生で学生会員会費適用者 2,640

³⁾ 会誌: 国内 287 国外 5, JPSJ: 国内 198 国外 451

⁴⁾ 会誌: 国内 295 国外 4, JPSJ: 国内 197 国外 439